



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.62  
2015年 9月号

公益財団法人  
School Aid Japan  
〒144-0043  
東京都大田区羽田 1-1-3  
TEL: 03-5737-2773  
FAX: 03-5737-2793  
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>  
sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

## 孤児院体験農業実習

皆さんこんにちは。8月の下旬から中学生以上の孤児院の子どもたちが農業体験実習にきました。男女別に合わせて4グループに分かれて、泊まり込みで5日間ずつ農場の仕事を体験してもらいました。それでは農業実習の報告と一緒に今月の報告をさせていただきます。

### ◇孤児院農業実習

先月末に引き続き、孤児院から子供たちが農場実習に来ました。初日は到着後、スタッフとお互いに自己紹介を行い、畑や蒸留棟を案内。午後からはスタッフと一緒に作業に入ってもらいました。5日間を通じて涼しい午前中は田植えや除草作業といった重労働を、暑くなる午後からは比較的負担の少ないレモングラスの収穫・調製作業を行ってもらいました。最初は全員緊張や慣れない作業のためぎこちない動きでしたが、2~3日たつと作業にも慣れ始め、皆てきぱきと作業を進めていました。



レモングラスを収穫する女の子

### ◇オクラ収穫・出荷再開

8月下旬からオクラの収穫・出荷を再開しました。7月に定植した500株の苗から、1日に約2~5kg収穫しています。6月にも同じように植えたのですが雨が少なく全て枯れてしまいました。天候に左右されてしまう農業の難しさを改めて実感しました。収穫後は倉庫に一時的に保管後、ヘタの切り口をそろえ、形がいびつでないか、虫喰いがいないかチェックし、プノンペン業者さんへ出荷します。出荷したオクラは業者さんにより包装されスーパーやレストランに卸されます。



収穫したオクラ。3.7kgありました

### ◇ジャスミンライス田植え完了

孤児院の子どもたちに手伝ってもらったおかげで5枚約1ha分の田植えが完了しました。日中の田植え作業は腰を曲げたまま行うので非常に重労働です。また、水が熱く足湯に浸りながら作業をしているような錯覚を覚えるうえ、照り返しもあるため非常に暑いです。作業中は水分補給などに気をつけ、こまめに休憩を取るようにしました。今年は雨が少ないため、年2回稲を収穫する2期作を1枚の水田を残して中止し、その代わりに価格の高いジャスミンライスを年1作で作付けました。



紐を貼って30cm間隔で田植中